



分教室

「3年間で育んだ伝える力」

3学年主任

3年生の卒業まで、あと1カ月ほどとなりました。この一年間、交流体育祭や交流文化祭、学習成果発表会など、どの行事も「これが最後だから」と学年一丸となって全力で取り組んできました。一つ一つの行事が終わるたびに、1年生の頃からの成長を感じ、胸がいっぱいになります。

さて、私は10期生の皆に「伝える力＝コミュニケーション力を身につけて卒業してほしい」という思いをもって、この3年間取り組んできました。困ったときに自ら助けを求めること、自分の意見を相手に伝えること、自分の思いと違う場合には相手に断ること。こうした、自分の考えや気持ちを適切な方法で人に伝える力は、卒業後の進路や社会生活において欠かせないものです。また、伝える力を身につける過程で、相手の立場に立って考えることや、相手の意見を受け入れる大切さも学んでほしいと考え、日々「客観的な視点」を大切にするよう伝えてきました。

この3年間、10期生の皆は様々な場面で「伝える」ことを実践してきました。校外学習や修学旅行の事前学習、授業での発表やグループワーク、日々の友達とのやり取り…。うまくいったときも、うまくいかなかったときもありましたが、そのたびに自分を振り返り、悩んだり、考えたり、時には相談したりしながら取り組んできました。その一つ一つの経験が積み重なり、着実に力となっていることを実感しています。特に3年生になってからは、話し合いの機会が1・2年生の時以上に多くなりました。自分の意見を丁寧に伝えたり、いいなと思った相手の意見を取り入れたり、より相手に伝わりやすくなるように試行錯誤したりしながら、互いに力を合わせて進める姿はとても頼もしく、この学年の大きな成長を感じました。

卒業まで残りわずかとなりましたが、これからも「伝える力」を大切にしながら残りの日々を過ごしてほしいと思います。そして、新しい環境で迷ったり壁にぶつかったりしたときには、この3年間で培った力を生かし、自分の思いを相手に伝えながら前へ進んでいってほしいと願っています。